

愛しいてい

I C T

No.5

H25.10.31

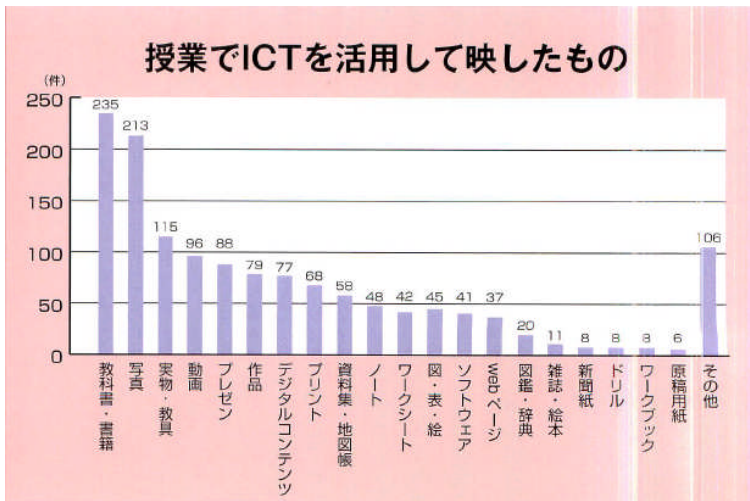
実物投影機で何を映しているか

新しい電子黒板と実物投影機が教室に常設されてから、活用頻度が飛躍的にアップしています。

ICT日常活用の第1歩は、実物投影機で「大きく映す」こと。

であると、改めて思いました。

では、先生方はICTを使って、授業で何を映しているのでしょうか？



調査によれば、授業で多く映されるものは、

**教科書・書籍、
写真、実物**

などです。

これらを大きく映すことで、子どもが学習に集中でき、内容を理解しやすくなるというわけです。

高橋純・堀田龍也（2008.12）：「小学校教員が効果的と考える普通教室でのICT活用の特徴」

日本教育工学会論文誌 Vol.32,Suppl,117-120

実物投影機の良いところは、準備にほとんど時間がかからないことです。

教室に常設さえしておけば、ぱっと使えて効果バツグン！ これほど便利なものは他にありません。

授業の流れに合わせて実物投影機を活用（「Hot Edu + Vol.1-P5 より引用）

導入

**動機づけ
課題提示**

教科書の図を大きく映すことで、様々なことに気がついたり、見方を共有できます。
ワークシートを大きく映し、スクリーンに書き込みながら、説明をします。

↓

展開

指示・説明の明確化

写真を大きく映すことで、細かな説明や指示を、一斉に伝えることができます。

理解を深める

教科書を大きく映しスクリーンに書き込みながら、説明をします。

↓

まとめ

ふりかえり

手元のプリントを提示することで、学習をふりかえることができます。